

リスクの再判定結果

	ばく露限界値（管理目標濃度）			推定ばく露濃度			リスクレベル				
	吸入 (8時間)	吸入 (短時間)	経皮吸収	吸入 (8時間)	吸入 (短時間)	経皮吸収	吸入 (8時間)	吸入 (短時間)	経皮吸収	合計 (吸入+経皮)	危険性 (爆発・火災等)
1	79-01-6 トリクロロエチレン			リスクレベルS							
現状	10 ppm	25 ppm	402.8 mg/day	5~50 ppm	200 ppm	0.96 mg/day	Ⅲ	Ⅲ	I	Ⅲ	Ⅳ
対策後	10 ppm	25 ppm	402.8 mg/day	0.1~1 ppm	4 ppm	0.048 mg/day	I	Ⅱ	I	Ⅱ	Ⅳ
2	106-88-7 1,2-エポキシブタン（別名：1,2-酸化ブチレン）			皮膚等障害化学物質、リスクレベルS							
現状	0.05~0.5 ppm	1.5 ppm	11.05 mg/day	0.5~5 ppm	20 ppm	19.5 mg/day	Ⅲ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ
対策後	0.05~0.5 ppm	1.5 ppm	11.05 mg/day	0.01~0.1 ppm	0.4 ppm	0.978 mg/day	Ⅱ-A	Ⅱ	I	Ⅱ	Ⅳ

有害性	濃度基準値設定物質以外の長時間（8時間）ばく露の評価結果は良好です。換気、機器や器具、作業手順などの管理に努めましょう。 濃度基準値設定物質以外の短時間ばく露の評価結果は良好です。換気、機器や器具、作業手順などの管理に努めましょう。
危険性 (爆発・火災等)	皮膚障害等防止用保護具の選定マニュアルに従い、適切な皮膚障害等防止用保護具を着用しましょう。 熱すると火災や爆発のおそれがあるため、詳細なリスクアセスメントを実施しましょう。専門家または購入元に取り扱い方等を確認・相談のうえSDS等に従い取り扱います。 引火するおそれがあるため、詳細なリスクアセスメントを実施しましょう。着火源の除去、爆発性雰囲気形成防止対策を徹底しましょう。

詳細なリスクアセスメントの実施結果

有害性

手法	実施日	判定結果	備考
作業環境測定	2024/4/1	第2管理区分	

危険性（爆発・火災等）

手法	実施日	判定結果	備考
マトリックス	2024/4/23	リスクレベルⅡ	

リスク低減措置の検討結果

検討したリスク低減措置の内容、実施時期等

保存

吸入性については今後も作業環境測定を実施する
危険性についてはトリクロロエチレンは難燃性であるが燃やすと有毒ガスが発生する
よってリスクレベルはⅡとなるため残留リスクとして教育を実施する

備考